

## 研究実施のお知らせ

研究課題名:難治性膵疾患克服を目指した多機関共同データベース構築研究

研究期間:仙台市立病院倫理審査委員会承認後～2026年12月31日

仙台市立病院では、倫理審査委員会の承認及び院長の許可の下、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年6月30日施行)に基づき、匿名化された既存情報(診療録等)の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2015年1月～2025年12月に、当院で膵疾患(膵癌、IPMN、その他の膵腫瘍、急性膵炎、慢性膵炎、自己免疫性膵炎、その他膵臓になんらかの異常を指摘されたもの)に対して検査や治療を受けられた方

### 【研究の目的と意義】

東北地方を中心とした多くの施設から患者さんの情報や画像データを集め、膵臓病の解明や新しい診断法・治療法の開発のためのデータベースとして利用します。

### 【研究の方法】

膵臓の病気が疑われ検査や治療を受けた患者さんの検査データや検査画像を、個人情報が分からないように加工し、AIを利用した画像解析システムや疾患予後予測スコアリングシステムといった次世代を担う研究に利用します。新たな検査や追加の処置は一切行いません。

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録のうち、診断名・年齢・性別・病歴・血液検査データ・画像データを研究に使用させていただきます。使用に際しては倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【利益・不利益】

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

### 【利益相反の状況】

本研究で代表研究責任者が使用する研究費は、寄付金(プロジェクト:J240001491 消化器医療イノベーション推進寄附講座、所件:06005340 消化器医療イノベーション推進寄附講座)です。本研究は、代表研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。なお、当院の研究責任者には、開示すべき利益相反はありません。

### 【研究の実施体制】

本研究は以下の体制で実施いたします。

研究責任者:東北大学病院 正宗淳

#### ○既存試料・情報の提供のみを行う機関

十和田市立中央病院	杉田純一
岩手県立中部病院	渡邊崇
山形県立中央病院	白幡名香雄
山形市立病院済生館	黒木実智雄
山形大学医学部附属病院	上野義之
石巻赤十字病院	海野純
大崎市民病院	境吉孝
仙台医療センター	吉田直樹
仙台市立病院	鈴木範明
みやぎ県南中核病院	佐藤晃彦
宮城県立がんセンター	虻江誠
白河厚生総合病院	岡本裕正
福島県立医科大学付属病院	鈴木玲

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点や研究に関するご質問がございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

### 【問合せ先】

仙台市立病院 消化器内科

医長 鈴木 範明

仙台市太白区あすと長町 1 丁目 1 番 1 号

電話:022-308-7111(代表)